

## 愛有会 運営事業所

### 久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

### 久米川

通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

### はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-396-7700**

指定居宅介護支援事業所

### はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14  
TEL. **042-391-3007**

指定居宅介護支援事業所

### こはぎ

東京都東村山市栄町 2-10-51  
NSビル 107 2階  
TEL. **042-391-3021**

### 三愛病院

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)  
TEL. **042-691-4131** (相談室直通)

### さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地  
TEL. **042-691-4111** (代表)  
TEL. **042-691-4131** (相談室直通)



社会医療法人社団 愛有会  
**愛有会通信**

■発行者／東京都東村山市本町4-7-14  
社会医療法人社団 愛有会  
TEL.042-390-2033  
<http://www.aiyukai.jp>

社会医療法人社団 愛有会

# 愛有会通信

令和3年1月 発行

Vol.8

通算 第227号



## 愛有会 基本理念

- 1. 地域包括ケア**  
私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていただける街づくりに貢献します。
- 2. 環境経営**  
私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。
- 3. 健康経営**  
私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。



## パンデミックが 教えてくれたこと

社会医療法人社団 愛有会

理事長

**阿部 真也**

久米川病院 院長

介護老人保健施設 久米川 施設長

昨年は、世界がコロナウイルスに翻弄された1年でした。この原稿を書いている11月末は、世界的な第3波の襲来にあって、東京都で過去最多の570人の感染が確認された日でした。

この1年に多くの人々が感染し、亡くなり、後遺症に悩まされ、多くの産業が大きなダメージを受け、多くの失業を生み、多くの…等、キリがない程の問題が突き付けられました。

医療機関も、厳しい経営状況下においてはパンデミック（大規模な感染症の流行）への備えまで手が届かず、更なる経営の悪化に直面しています。

現代は、半年のロックダウンどころか1ヶ

月ですら耐えられない脆い時代であり、常に経済という血（お金）が流れていないと維持できないのだと、そして経済と生命が両立していないのだと痛感させられました。

この国家的危機にあって地価も株価も下がらず、株価は上昇すらしています。不動産や株にはお金が回り、困っている人々には回ってきません。困っている人を助ければ助けるほど国の借金が増え、将来の世代へのツケは膨らむ一方です。

次のパンデミックで同じことをくり返さないためには、どのような生き方、社会を目指すのか。現代は次の世代にどのような遺産を残すのか。真剣に考える時が来たのではないのでしょうか。



常務理事

**高野 英文**

(経営管理本部 前本部長)

新年あけましておめでとうございます。

昨年は100年に一度規模の新型コロナウイルスパンデミックを防ぐべく、愛有会の全ての事業所と職員が立ち向かった1年でした。

利用者様とご家族の皆様には、面会制限など多大なご負担をお掛けしました。三愛病院は、本院の移築新築に足並みを揃えるべく、2年前から施設内の大規模リニューアルを行い、介護医療院も開設しました。感染対策を徹底しつつ、大規模に空調システムやご家族様とのテレビ面会他、時代に先駆け施設内の情報インフラも刷新して、利用者様には快適な療養環境の提供を図り、若い職員も働き甲斐のある職場環境の実現に努めております。

また、三愛に近接する創価大学様より、看護学部の臨床実習生を長年お受けしてきた事が評価され、病院長と看護部長が、臨床教授の称号を授与される予定です。大変名誉ある事で、本年もより一層利用者様、患者様にご評価いただける医療・看護・介護をご提供して、愛有会の更なる発展を期待しております。



理事

**浅野 孝幸**

(法人事業部 室長)

あけましておめでとうございます。

令和2年度は新型コロナウイルスが猛威を振るう未曾有の社会環境の中で、愛有会の事業所をご利用頂く皆様や職員への感染防止に全力で取り組みました。幸い行政機関や関係団体からの手厚いご支援と、何よりも事業所をご利用頂く皆様方のご理解とご協力を賜りましたお蔭で、感染の発生を抑止して安全な事業環境を堅持出来ました事を心より感謝申し上げます。

感染対策では未だ収束が見えない状況下ですが、愛有会では新築移転後1年が経過した久米川病院や介護老人保健施設久米川、昨年4月に介護医療院を開設した三愛病院、支店の稼働を始めた訪問看護事業や居宅介護支援事業の今後の事業所拡大など、本年も将来へ繋がる大きな正念場となる1年になりますので、引き続き事業目標の達成に向けて取り組んで参ります。本年もご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



理事

**田村 浜子**

(久米川病院 看護部長)

新年おめでとうございます。

コロナ禍の年初めに気持ちを一新したいと思います。新病院になり早くも1年が経過しました。今までは内科疾患の高齢者を中心に受け入れてきましたが、昨年6月整形外科の手術開始に伴い、手術適用患者様の受け入れを開始しました。地域包括ケアシステムの中の重要な機能である在宅復帰率も80%以上を維持できています。老健では通所リハビリも行っており、コロナ禍において感染を防ぎリハビリを続けていただけるよう心を砕いています。老健としての役割は利用者様の生活環境を整え、その人らしい日常生活を継続できるよう支援を行うことです。まだまだ至らぬ点も多いですが、利用者様の僅かな変化に喜びを感じるこの頃です。

医療や介護はすべての人に必要とされる大事な仕事と認識しています。昨年、病院はレジリエンス認証を受けました。レジリエンスとは弾力・回復力とのこと。日本は自然災害が多い国の為、災害に強い病院を目指し邁進していきたいと思っています。

本年も宜しくお願い致します。

# さんあい介護医療院

## 介護医療院について

※国は2018(平成30)年4月の「介護医療院」創設により、2024年(令和6年)3月末日をもって「介護療養型医療施設(介護療養病床)」の廃止を決定しました。

### <介護医療院とは>

今後増加が見込まれる、長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者の受け皿を確保するため、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能を兼ね備えた施設であり、長期にわたり療養が必要な要介護者に対して「長期療養のための医療」と「日常生活上の支援(介護)」を一体的に提供する施設です。

## 「介護 + 医療 = 介護医療院」

### <介護療養型医療施設との比較>

介護療養型医療施設(療養病床)とは、「医療の必要な要介護高齢者のための長期療養施設であり、療養病床等を有する病院または診療所であって、当該療養病床等に入院する要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の世話および機能訓練その他必要な医療を行う事を目的とする施設(病院または診療所)」とされています。

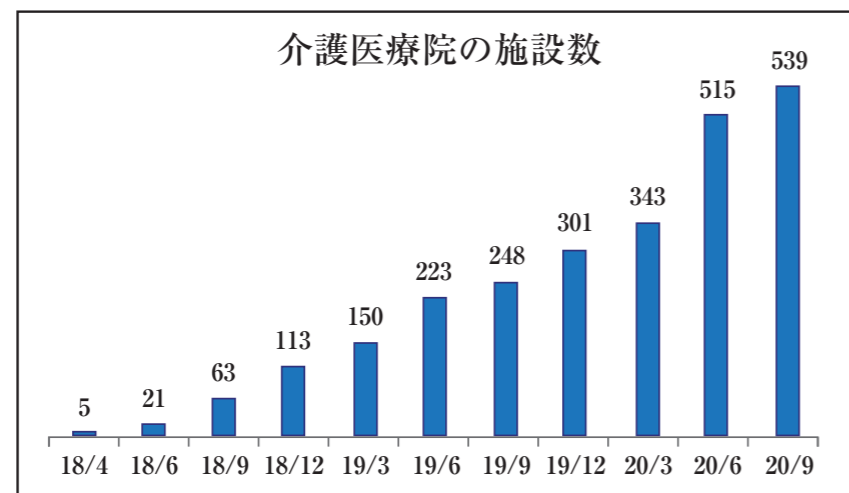
**介護療養型医療施設(医療保険法上の医療機関) ⇒ 介護医療院(介護保険法上の施設)**

※「介護療養型医療施設(医療機関)」から介護医療院に転換すると「施設扱い」となります。

### <介護医療院の開設状況について>

介護医療院施設数(2020年9月30日現在)	介護医療院療養病床数(2020年9月30日現在)
全国合計施設数: 539施設	全国合計療養床数: 33,820床
関東合計施設数: 57施設	関東合計療養床数: 4,358床
東京都合計施設数: 16施設	東京都合計療養床数: 1,496床

(出典:厚生労働省老健局老人保健課調べ)



(出典:WAM <https://www.wam.go.jp/hp/kaigoiryoin/>)

# さんあい介護医療院

医療と看護と介護をご提供します



### Q. 病院とは違うのでしょうか?

介護医療院は病院ではなく、長期療養を受けながら生活する施設ですが、医師や看護師の配置が義務付けられており、医療を提供することができます。



### Q. どのような設備がありますか?

療養室の定員は4人以下でパーティションを設置する等、入所者のプライバシー空間に配慮し、長期療養にふさわしい施設となっています。また、食堂、レクリエーション・ルーム、機能訓練室などが設けられています。



### Q. 利用料金はどうなっていますか?

入所者の方の要介護度と施設のサービス内容により介護報酬上の単位が定められています。また、居住費・食費については施設との契約額となります。(低所得の方は負担軽減の対象となります。)



### Q. 受けられるサービスとは?

日常生活に必要な医療処置や看護、介護、リハビリテーション等を提供し、入所者の方の能力に応じ、自立した日常生活を営むことを支援します。



### Q. どのような人が利用できますか?

要介護1~5の方であって、病院に入院するほどではないものの、例えば、喀痰吸引や経管栄養等の日常的・継続的な医学管理等の理由により、在宅や他の介護保健施設等で支えることが難しい方などが想定されます。



### Q. 最期までいられるのでしょうか?

看取りやターミナル対応も介護医療院の機能の一つとなっています。詳細は相談室までお気軽にご相談ください。



# 三愛病院・さんあい 介護医療院病棟案内



4階・5階病棟 (120床)  
さんあい介護医療院

3階病棟 (60床) 三愛病院  
【介護療養型医療施設】

5階

4階

3階

2階  
リハビリテーション室  
通所リハビリテーション室

## 3F (介護療養型医療施設) 概要

開設：2003年4月  
ベッド数：60床(3階60床)  
各階：4床×12・2床×5・個室×2

## 4・5F (さんあい介護医療院) 概要

開設：2020年4月1日  
ベッド数：120床(4階60床・5階60床)  
各階：4床×12・2床×5・個室×2

## 通所リハビリテーション



リハビリマシン

### 通所リハビリを簡単にいうと

送迎付きのリハビリサービスです。PT・OT・STが行う個別リハビリの他、リハビリマシンが充実しています。筋力や身体のバランス強化ができ、「1人でトイレに行けるようになる」「趣味活動が再開できる」など、生活活動能力の向上へとつながります。リハビリを通して皆様が思い描く生活のかたちに近づけるように、お手伝いをさせていただきます。

新型送迎車を導入致しました。  
広い車内が快適で大変好評です。



新型送迎車導入

さらにやりたいことへ  
↑ 時間  
トレーニングを積み重ね  
↓ やりたいことのために



## 「励み合い 笑顔の先に 確かな一歩」

- ☑ 短時間プログラムを中心としたリハビリに特化した通所リハビリテーションです。
- ☑ 個別のリハビリテーションを提供するのは勿論ですが、リハビリ以外の時間は個々に合わせたメニューを実施します。
- ☑ 専門のリハビリスタッフを配置しています。(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)
- ☑ 6台のリハビリマシンにより、筋力アップへ繋げていきます。
- ☑ 自然に囲まれた環境を活かしたリハビリを行うことができます。

### サービスについて(月曜日～金曜日)

(例)	午前	午後	送迎
3～4時間	9:00～	13:15～	可
コース	12:15	16:30	

●その他ご希望につきましてはご相談ください。

お問い合わせ先  
三愛病院 通所リハビリテーション直通  
TEL:042-690-9200 FAX:042-690-9201  
E-mail:daycare-sanai@sanai-hosp.jp 担当:山本 匡彦

## 整形外科手術、始動



整形外科手術スタッフ

医師・看護師等を中心に対応します。



術後リハビリの様子

手術後は曲げ伸ばしや歩行の訓練を行います。

2020年6月より、久米川病院では整形外科の手術がスタートしました。今回は手術室やスタッフ、対応手術の一例から変形性膝関節症をピックアップしてご紹介いたします。



手術室内装



整形外科医師  
阿部一雅

骨折手術から人工関節手術まで対応しています。

大学で培った技術を、この地域の為に役立てることができれば幸いです。



## 変形性膝関節症とは

多くは膝の内側の軟骨が変形・摩耗し、膝関節の内側が痛む疾患です。加齢、肥満、骨粗しょう症、関節リウマチなどが原因となり男性よりも閉経後の女性に多く見られます。進行すると徐々に<sup>オー</sup>脚となり歩行の障害となります。



進行期

末期



### 治療

軽度～重度に応じて治療を相談して決めます

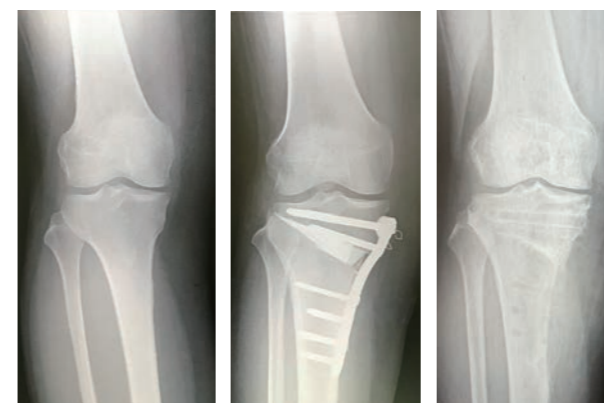
#### 保存療法

手術を行わない

鎮痛剤や筋力訓練、ヒアルロン酸注射、装具等を用いた手術を行わない治療法です。

#### 関節温存術

骨切り術



術前

術後

術後2年

体重がかかる部位を内側→外側(健側)へ変えることで痛みを除き、関節軟骨の再生を促します。

#### 人工膝関節

全置換術

傷んだ骨・軟骨の表面を削り、人工関節をはめ込みます。最小侵襲法<sup>さいしょうしんしゅうほう</sup>(※)のため術後の痛みが少なく、早期の歩行訓練が可能です。

術前

術後



※筋肉を切る部位が少ない手術法

### 対応手術

- ・ばね指
- ・手根管症候群
- ・骨折
- ・変形性膝関節症
- ・人工関節 など…

膝の痛みでお悩みの方は是非一度、外来へお越しください!

# 訪問看護ステーション はぎやま

2020年を振り返って

訪問看護ステーションはぎやま  
所長 佐野 みゆき



昨年は新型コロナウイルスに始まり、新型コロナウイルスに終わる、全世界がそんな年でした。オリンピックも1年延期となり、今年無事に開催されることを祈るばかりです。

そして、何といても新型コロナウイルスが終息しますように…。

訪問看護の世界も大きく変化した年でした。まず、退院前カンファレンスが開催できなくなり、研修や会議なども全て中止となりました。しかしそれを機に、様々な事がリモートで行われるようになりました。「はぎやま」でも、リモートに必要な機材を導入し、退院前カンファレンスにも参加し、今まで行ってきた勉強会「村の集い」も「リモート村の集い」と称して開催予定です。アナログだった「はぎやま」が、少しずつデジタル化している感じがあります(笑)。

デジタル化による利点も多く、まず、電車に乗って会場に行かなくても良いこと。

(まさにドラえもん「どこでもドア」ですね(^^)♪) そして移動時間も、電車代もかかりません。会場費も必要なく、資料を印刷する必要もありません。慣れるまでもう少し時間がかかりそうですが、ちょっと進化した「はぎやま」を嬉しく思います。半面、直接お会いして話ができないことが淋しくもあります。早く両方が当り前の世の中になると良いと思います。今年度、新しい仲間が2名増えました。今年もスタッフ一同頑張ります！



## 「腹膜透析」の勉強会を行いました！

感染対策を行った上で、8月17日「テルモ株式会社」の方をお招きして、「腹膜透析システム」の勉強会を行いました。

腹膜透析は、自宅など生活の場に於いて、自身で透析液を交換することで可能な透析システムです。仕事との両立も可能で、生活の自由度が高くなることから広がっています。最近では、災害時のことを考え、若いだけでなく高齢者の利用も増えてきているとのことです。「一人では交換が難しいけど、サポートがあれば…」という依頼に応じて、手技を学習しました。実際に使用するチューブや、デモの腹膜透析液を使用して体験できたため、理解が深まりました。



## はぎやまでは、感染対策も手作りです

事業所内のパーティションを手作りしました。ほっと一息できるはずの昼休みも、今までのようなおしゃべりは禁止です。壁に向かっての食事は寂しいものですが、ビニールなどを使って、せめて明るさだけは確保したいと製作しました。この壁が早く取れることを願っています。



# 指定居宅介護支援事業所 はぎやま

居宅介護支援事業所はぎやま 所長 高橋 佐知子



居宅介護支援事業所「はぎやま」が久米川病院内に移り、早1年が過ぎました。居宅介護支援事業所が2ヶ所に分かれてしばらくは、利用者様や関係事業所の方々にご迷惑をおかけしましたが、現在は少しずつ落ち着き、軌道に乗ってきたと思います。

ただ世の中では、まだまだ新型コロナウイルスの影響で不安な日々が続いています。ケアマネジャーの研修も、リモートを使用したり、少人数で行う等方法が変わってきている状況です。その中でも必要な連携がきちんととれる体制を整えていきたいと思っています。引き続き、法人全体としっかり連携をとり、業務を行っていきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 指定居宅介護支援事業所 こはぎ

ことわざだよ人生は 居宅介護支援事業所こはぎ 所長 立石 あさひ



—昨年10月、手探りで始まった事業所開設から1年余りが過ぎました。日常業務の他に自身の主任研修の受講、法人内会議への出席、帳票類や稟議書類の押印、所内でのプチ事例検討会、事業所加算算定準備、ケアプラン点検の実施、主催研修の打ち合わせ等…。慣れない業務に奮闘する日々でした。至らないながらもどうか1周年を迎えられたのは、ただただ皆様の温かい支えとご協力の賜物なのだと、ここへ来て痛感しております。心から感謝申し上げます。「習うより慣れよ」のことわざ通り、この1年経験させていただいた業務を礎に、一步一步進んでいきたいと思っています。そして世界は未だコロナ禍の中にあります。でも「冬来たりなば春遠からじ」…何事に依らず厳しい冬の時代に有るということは、温かく穏やかな春がもうそこまで来ているのだという天の摂理を信じて、皆さんと進んで行こう！と決意を新たにしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 「リモート村の集い」始動します！

新型コロナウイルスにより、今まで通りの「あたりまえ」はもう戻ってこない…しかし！嘆いていても始まらない。「村の集い」は「リモート村の集い」として動き始めます！

第一弾は、今何かと話題の「おひとりさまの終活」についてです。一人暮らしで身寄りのない方が自宅で亡くなった時、その後どうしたら良いか困ったことはありませんか？東村山市で司法書士として活躍されている坂本彰太郎先生を講師にお迎えし、対応方法を色々な立場から考えていきたいと思っています。